

令和3年度
砥部町水道事業会計

決 算 審 査 意 見 書

砥部町監査委員

目 次

1	審査について	
(1)	審査対象	1
(2)	審査期日	1
(3)	審査の方法	1
2	審査の結果	1
3	決算の概要	
(1)	水道事業の業務状況	2
(2)	収支の状況	
①	収益的収入及び支出	2
②	資本的収入及び支出	3
(3)	経営成績	
①	経常収支について	4
②	給水収益の状況	4
③	費用使途別構成比	5
(4)	企業債の状況	5
(5)	資産の状況	6
4	結び	6

凡 例

本書における数値等の取り扱いについては、以下のとおりである。

- 1 文中及び各表中の金額は、原則として千円単位で表示し、単位未満を四捨五入して表示した。したがって、内訳の計が「合計」又は「小計」の金額と一致しない場合がある。
- 2 比率(%)は、原則として小数点以下第2位を四捨五入して第1位まで表示した。したがって、内訳の構成比の計が「合計」の数値と一致しない場合がある。
- 3 前年度との比較は、原則として項目ごとに千円単位に四捨五入したうえで、差引数値又は増減比を算出している。
- 4 各表中の符号の用法は、次のとおりである。
 - 「0.0」・・・該当数値はあるが、表示単位未満のもの
 - 「－」・・・該当数値がない場合又は比率で計算不能の場合
 - 「△」・・・負数を示し、増減を示すときは減を表す

1 審査について

(1) 審査対象

令和3年度砥部町水道事業会計決算

(2) 審査期日

令和4年7月29日

(3) 審査の方法

町長から審査に付された決算報告書、財務諸表及び決算附属書類が地方公営企業法その他関係法令の規定に基づいて作成され、また、それらが事業の経営成績及び財政状態を正確かつ適正に表示しているか否かについて審査した。

審査にあたっては、事業報告書等、事業実態の詳細について、関係職員の説明を聴取し、関係証憑の確認を実施するとともに、例月現金出納検査等の結果も参考とした。

2 審査の結果

決算報告書、財務諸表、事業報告書及び附属明細書は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、その計数は証書類と符合し正確であり、当事業の当年度の経営成績及び財政状態を適正に表示されているものと認められた。

予算の執行は、適正であると認められた。

3 決算の概要

(1) 水道事業の業務状況

水 道 の 状 況

年度	給 水 戸 数 (戸)	給 水 人 口 (人)	普及率 (%)	有収率 (%)	1日最大 供給量 (m ³)	1日平均 供給量 (m ³)	供 給 単 価 (円/m ³)	給 水 原 価 (円/m ³)	管 の 総延長 (m)
3	8,842	19,343	94.6	84.5	8,474	7,272	121	119	165,221
2	8,797	19,478	94.5	85.2	8,185	7,246	119	116	164,401
元	8,752	19,697	94.4	79.7	8,664	7,719	120	117	163,953
30	8,737	19,919	94.4	78.1	9,017	7,889	120	119	162,711

(2) 収支の状況

① 収益的収入及び支出

単位：千円

		3 年度		2 年度	元年度	3 0 年度
		予算現額	決算額	決算額	決算額	決算額
収 入	営業収益	325,723	332,658	324,963	330,123	310,104
	営業外収益	45,155	38,007	33,356	32,797	27,245
	計	370,878	370,665	358,319	362,920	337,349
支 出	営業費用	321,996	315,369	300,694	307,565	290,710
	営業外費用	18,847	18,845	30,665	26,857	31,745
	特別損失	50	—	—	—	—
	予備費	500	—	—	—	—
	計	341,393	334,214	331,359	334,422	322,455
収支差引額		29,485	36,451	26,960	28,498	14,894

収入は、予算現額3億7,087万8千円に対し、決算額3億7,066万5千円で、収入率は99.9%となっている。

支出は、予算現額3億4,139万3千円に対し、決算額は3億3,421万4千円で、執行率は

97.9%となっている。

② 資本的収入及び支出

単位：千円

		3 年度		2 年度	元年度	3 0 年度
		予算現額	決算額	決算額	決算額	決算額
収 入	企業債	465,500	195,500	36,800	42,600	122,000
	補助金	—	—	—	—	—
	負担金	2,500	2,500	2,178	1,675	589
	工事負担金	80,580	80,571	17,638	42,229	51,952
	出資金	64,000	—	—	—	—
	計	612,580	278,571	56,616	86,504	174,541
支 出	建設改良費	694,705	358,740	126,369	205,706	161,755
	企業債償還金	131,254	126,638	110,007	94,016	100,340
	計	825,959	485,378	236,376	299,722	262,095
収支差引額		△ 213,379	△ 206,807	△ 179,760	△ 213,218	△ 87,554

収入は、予算現額6億1,258万円に対し、決算額2億7,857万1千円で、収入率は45.5%となっている。

支出は、予算現額8億2,595万9千円に対し、決算額4億8,537万8千円で、執行率は58.8%となっている。なお、建設改良費3億3,255万6千円を翌年度へ繰り越している。

資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額206,807,546円については、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額23,548,908円及び過年度分損益勘定留保資金183,258,638円で補てんしている。

(3) 経営成績

① 経常収支について

単位：千円

		3 年度	2 年度	元年度	30年度
経常 収益	営業収益	302,839	296,092	304,295	287,417
	営業外収益	31,602	33,054	32,226	27,075
	計（A）	334,441	329,146	336,521	314,492
経常 費用	営業費用	302,682	289,559	296,834	282,353
	営業外費用	19,089	21,039	22,779	24,241
	計（B）	321,771	310,598	319,613	306,594
経常損益（A）－（B）		12,670	18,548	16,908	7,898
特別 損益	特別利益	—	—	—	—
	特別損失	—	—	—	—
当年度純利益		12,670	18,548	16,908	7,898

当年度の経常収支は、経常収益3億3,444万1千円に対し、経常費用3億2,177万1千円となっており、純利益は1,267万円となっている。

② 給水収益の状況

単位：千円・m³・%

水 道 使 用 料				使 用 水 量			
3 年度	2 年度	元年度	増減率 (3 年度 : 2 年度)	3 年度	2 年度	元年度	増減率 (3 年度 : 2 年度)
270,339	269,056	269,455	0.5	2,243,444	2,254,360	2,246,741	△ 0.5

前年度対比では、水道使用料が微増、使用水量が微減となっている。

③ 費用使途別構成比

単位：千円・％

	3 年度		2 年度		元年度		増減率 (3 年度： 2 年度)
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	
人件費	27,238	8.5	24,983	8.0	30,409	9.5	9.0
動力費	52,278	16.2	44,490	14.3	40,778	12.8	17.5
物件費その他	83,341	25.9	77,713	25.0	86,407	27.0	7.2
減価償却費等	140,118	43.5	142,756	46.0	139,436	43.6	△ 1.8
支払利息	18,796	5.8	20,655	6.7	22,583	7.1	△ 9.0
特別損失	—	—	—	—	—	—	—
計	321,771	100	310,597	100	319,613	100	3.6

使途別では、減価償却費等、物件費その他、動力費が主に占めている。

前年度対比では、動力費・人件費・物件費その他が増加し、支払利息・減価償却費等が減少している。

(4) 企業債の状況

単位：千円

資 金 区 分	2 年度末残高	年 度 中		3 年度末残高
		借入額	償還額	
財政融資資金	486,810		54,256	432,554
地方公共団体金融機構資金	1,052,630	195,500	72,382	1,175,748
計	1,539,440	195,500	126,638	1,608,302

第6配水池築造成工事及び同電気計装工事等に伴い、1億9,550万円を借り入れ、未償還残高は6,886万2千円増加し、16億830万2千円となっている。

(5) 資産の状況

単位：千円

		3年度	2年度	増 減
固定資産	有形固定資産	3,899,377	3,692,475	206,902
	無形固定資産	361	361	0
	投資	17	17	0
	計	3,899,755	3,692,853	206,902
流動資産	現金・預金	226,182	302,844	△ 76,662
	未収金	120,032	25,878	94,154
	貯蔵品	240	269	△ 29
	前払金	95,000	54,000	41,000
	計	441,454	382,991	58,463
合 計		4,341,209	4,075,844	265,365

固定資産は、第6配水池築造成成工事等により2億690万2千円増加しており、除却及び減価償却後の未償却残高は38億9,975万5千円となっている。

流動資産は5,846万3千円増加し、4億4,145万4千円となっている。

4 結び

良質な水を安い価格で安定的に供給するための基盤整備と給配水に留意するとともに、経費の節減・堅実運営に努め、概ね良好な成果を得て令和4年度に引き継ぐことができたものと見受けられる。

水道事業については、公共下水道管渠布設に伴う水道管移設工事や老朽管及び耐震化に満たない設備の更新について計画的かつ円滑に推進されることを期待する。

少人数の山間地など採算ベースに乗りにくい地域においても、飲料水の安全面から行政が運営する必要があり、安定供給に努められている。引き続き、給水原価の低減に努めるとともに、有収率の向上を図り、より一層合理的・効率的な経営に努められたい。

また、節水意識の向上と給水人口減少により、使用水量の大幅な伸びが期待できないことなど、経営に厳しい環境が予測されるが、今後とも、適正な事業の推進とともに、安定した水源の確保と安心安全な飲料水の供給に努められたい。